

公表:令和 4 年 1 月 20 日

事業所名 ソレイユの森 アクティブ

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			体を動かす十分なスペースがある。	
	②	職員の配置数は適切であるか	○				
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか		○		到着後、帰り支度の順序を絵カード等で視覚的に把握しやすいようにしている。	・活動空間が1Fと2Fに分かれており、活動の移行で階段の昇降が必須になる。利用者によっては職員の補助が必要。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○			送迎車内や体育館内の清掃や消毒、器具の整理については、安全面の視点からも常に意識して、環境を整えるようにしている。	
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			職員会議の中で、療育現場で出た情報を共有し、より良い療育を目指している。	
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○				
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○				
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○		
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			内部研修を定期的に行っている他、例年は、外部研修に積極的に参加し、職員間での情報共有や知識向上のために研修報告の場を設けているが、今年度は新型コロナウイルスの影響で実施できていない部分がある。	・職員レベルに合わせた役職や勤務年数に応じた研修を検討。
適切な	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○				
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○		適応行動尺度Vineland-IIの指標をアセスメント時に参考にしてている。	

な支援の提供	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○				
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○			個々の短期目標達成に合わせた立案を作成している。	
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			個々の特性や支援目標をもとにチーム全体で共通認識を持ちながら立案を交代で作成している。	
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○				
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○				
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			支援開始前に支援の内容や役割分担を記載した日案をもとに、職員間で打ち合わせをして確認をしている。 児童の家庭や幼稚園、保育園等での情報等も共有し、共通認識のもと支援にあたることができようになっている。	パート職員も含めた情報共有や支援についての話し合いの時間がより必要と感じ、共有方法等を再検討。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			療育後の振り返りで、支援の反省や子どもたちの変化等について話し合っている。	
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○				
関係機関や保護者との連携関係機関	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○				
	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○				
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○			頻繁に行えているわけではないが、ケースにより相談している。	
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか				医療ケア、重症心身障害のある児童を受け入れた実績はない。	
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか				医療ケア、重症心身障害のある児童を受け入れた実績はない。	
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○			全ての児童に行えているわけではないが連携を図っている。	

保護者との連携	②⑥	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか		○		・全ての児童に行えているわけではないが連携を図っている。	
	②⑦	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○			
	②⑧	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか		○			保護者のニーズやコロナ禍の状況を踏まえた検討が必要。
	②⑨	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども子育て会議等へ積極的に参加しているか			○	コロナ禍のため積極的に参加できていない。	
	③⑩	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○				
	③⑪	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか		○		・ペアレントトレーニングという名目の講座や面談等を行っていないが、家での過ごし方等の相談を受け具体的な方法等を助言することがある。	
保護者への説明責任等	③⑫	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○				
	③⑬	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○				
	③⑭	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○				
	③⑮	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○		コロナ禍のため開催できていない。	
	③⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○				
	③⑰	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○				
	③⑱	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○				
	③⑲	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○				
	④①	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に関わられた事業運営を図っているか			○		

非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○				
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○				
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○				
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、示書に基づく対応がされているか 医師の指示に基づく対応がされているか	○			アレルギー対応の子どもの情報について、保護者からアセスメント時に聞き取りを行い職員間へ周知している。	
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○				
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○				
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○				

◎ この「事業所における自己評価結果」は、事業所全体で行った自己評価です。

公表:令和 4 年 1 月 20 日

事業所名 ソレイユの森 アクティブ

保護者等数(児童数) 40名 回収数 33 割合 82%

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	① 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	30	2	0	1	・とても広く狭い所や人ごみが苦手な子にいい環境とを感じる。	
	② 職員の配置数や専門性は適切であるか	32	0	0	1	・職員数が多いので安心している。	
	③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	29	1	0	3		
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	31	1	0	1		
適切な 支援の 提供	⑤ 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	32	0	1	0	・親と同じ目標に沿って支援計画の目標が設定されていた。 ・内容について満足だが、更新の説明が遅くなったことがあるので説明時期等しっかりしてほしい。	・早めに説明日の調整を行うようにしていく。
	⑥ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	32	0	0	1		
	⑦ 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	32	0	0	1	状況の変化に伴い修正され支援されていた。	
	⑧ 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	33	0	0	0	・毎週変化があって楽しく取り組めるよう工夫され、子どもも楽しそうにしている。 ・様々なプログラムが考えられていて楽しんでいる。 ・子どもが楽しめるよう十分工夫されていると感じる。 ・体操も製作物もバリエーションが豊富で凄いなと思う。完成度が高く本人が誇らしげに持ち帰ってきて家族にも褒めてもらい自信に繋がっている。	
	⑨ 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	13	3	1	16	・デイサービスの交流で満足している。 ・コロナ禍に入った後の入所なのでわからない。 ・個々で幼稚園等に通園していると思うので特別交流はなくても良いと思う。 ・交流の機会があるかはわからないが幼稚園へ通っているの必要性を感じない。	・保護者からの希望が少ない事や、それを望まない保護者もいるので、参加形式や回数等、実施内容の調整が必要。

保護者への説明等	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	33	0	0	0		
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がされたか	33	0	0	0		
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	19	4	1	9	<ul style="list-style-type: none"> ・スタッフの方がどのような声掛けをしてどのように対応しているのかお話を聞けるので、家でも同じような対応ができると感じる。 ・事業所で行っている対応で家庭でも継続できる関わりがあれば定期的に教えて頂けると良い。 ・保護者が利用できるペアレント講座などがあるか知りたい。 ・コロナ禍であり十分に行われているとは言えない。 	
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、共通理解ができているか	33	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・毎回の送迎でその日の様子、最近の変化についてお話を聞いて助かっている。 ・毎回帰りにその日の活動等を話してくれる。 ・送迎の際に子どもの状況を教えて頂いたり、連絡帳に写真を貼ってもらえることで活動の様子がわかった。 ・毎回療育内での頑張っていたことなどを報告してもらい、こちら様子も伝えることができるので共有できて良い。 	
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	27	4	1	1	<ul style="list-style-type: none"> ・面談などはコロナ禍のことがあるので控えたほうが良いと思う。 ・面談は無いが送迎時にお話ができることと、必要であればTELでお話ができる。 ・TELや文章などのやり取りから就学時の相談などに意見をもらった。 ・コロナ禍なので行われているとは言えないが、送迎時に情報は貰っている。面談が再開できれば達成できると思う。 	・コロナ禍のことがあり、電話にて個別支援計画の説明や、育児に関する相談、就学についての相談を行っている。コロナ禍の状況を見定め、面談を再開できるよう検討中。
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	6	7	10	10	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の開催は難しいと思う。 ・コロナ禍の為延期になった。 ・必要を感じないので今のままで良い。 	・年に1度発表会を兼ねた茶話会を開催し、保護者同士の交流の機会を設けているが、今年度は新型コロナウイルスの影響で延期。
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	32	1	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・子供の困りごとや不安があった時すぐに状況を説明してくれたり、対策を提案しフォローしてくれる。こちらからの相談にすぐに対応して頂けて助かる。 	
⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	33	0	0	0			

	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	31	0	0	2	・定期的にお便りを貰っている、ノートに写真をつけてくれるので子どもの活動の様子がわかりやすい。	
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	32	0	0	1		
非常時の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	32	0	0	1	・コロナ禍での事業所内での濃厚接触者に関する連絡等が迅速で助かっている。	
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	32	0	0	1		
満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	33	0	0	0	・制作で持ち帰った作品をととても嬉しそうに見せてくれる。 ・毎回楽しみに行っていて親としてはとても嬉しく思う。 ・毎回楽しみにしていて本人は運動することに満足感を得ている。 ・自由時間もこどもの興味がある事を取り入れてくれたイベント等も充実した内容でありがたい。手作りのお誕生日カード等も子供が喜んでいる。 ・通いだしてから外でも明るくなったように感じる。いつも楽しみにしている。	
	㉓	事業所の支援に満足しているか	33	0	0	0	・苦手なことも少しずつ克服できてお友達もたくさんできて大満足です。 ・いつも子どもに温かく接して頂きありがたい。 ・思いきり体を動かすことができしっかりと指導をしていただけるので大満足です。 ・いつも丁寧に対応していただきありがたい。 ・親子共々まんぞくしている。 ・満足している。	

◎ この「保護者等からの事業所評価の集計結果」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。